

# ひょうご北摂里山アートフォーラム

2021 (令和3年)

# 10.30 (Sat)


兵庫県立人と自然の博物館  
ホロンピアホール


事前申込制・参加無料

情報サイト <https://hitosato.jp>

(申込方法等最新情報は上記から)

13:00 ~ 16:30

 JR宝塚線・三田駅から神戸電鉄に乗り換え  
フラワータウン駅下車 徒歩5分

 中国自動車道・神戸三田ICから約10分  
※専用駐車場はありませんので、近隣有料駐車場をご利用ください。

## 作品展示 (中庭)



西村正徳

### O2 ひまわり / Thanks for the Oxygen

大阪芸術大学金属工芸を卒業後、金属や陶による彫刻作品から始まり、野外彫刻を制作。近年ではシート系の素材を用い、自然のエネルギーとコラボさせることで視覚効果を体験できるインスタレーション作品など、常に自然と向き合う緊張感を内包させ環境と呼応するランドスケープアートを多く手掛けている。(三田市在住)

### 大阪芸術大学短期大学部 デザイン美術学科



今回のアートフォーラムには工芸・立体デザインコース2年生11名が参加。北摂里山の伐採木も活用し、それぞれが描く里山のイメージから作品を創造。発表が初めての学生達には掛け替えのない経験となりました。

## 作品展示 (ホール)



### 木彫フォークアートおおよ

「木彫フォークアート」は人々の生活に密着し、喜怒哀楽を表現する芸術です。1994年に大屋町(現:養父市)で始められた「公募展木彫フォークアートおおよ」のコレクションから若手作家による作品を中心に展示します。

## アートの目線から里山の魅力を考える

「北摂里山は日本人のこころ」を基本理念に、里山の保全と活性化をめざす「北摂里山博物館構想」から今年で10年。この間、子どもたちが里山の豊かな自然環境を学び、これからの里山を担う人を育て、里山を守り続けている団体をサポートしてきました。今回のフォーラムが、「アートの目線から里山の新たな魅力を考える」きっかけとなり、次の10年につなげていきたいと考えます。

### 基調講演

「アートによる地域活性化・魅力創出」

北川 フラム アートディレクター  
アートフロントギャラリー代表



photo by Mao Yamamoto

東京芸術大学美術学部卒業。地域づくりの実践として、「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」(2000~)「瀬戸内国際芸術祭」(2010~)「いちばらアート×ミックス」(2014)「北アルプス国際芸術祭」(2017)「奥能登国際芸術祭」(2017)で総合ディレクターをつとめる。フランス、ポーランド、オーストラリア各国より文化勲章、国内では2017年度朝日賞、2018年度文化功労者、2019年度イーハトーブ賞他を受賞

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、内容に変更が生じる場合があります。最新情報はホームページでご確認ください。 <https://hitosato.jp>

## 事例紹介 & パネルディスカッション

facilitator 大嶋 点



六甲ミーツ・アート芸術散歩総合ディレクター/キュレーター  
大阪芸術大学写真学科卒業。萌木の村博物館学芸員を経て、六甲オルゴールミュージアム館長としてミュージアムマネジメントに注力。同時に複数のミュージアム、ギャラリーの立ち上げ、運営に関わる。2010年に六甲ミーツ・アート芸術散歩を開始



兵庫陶芸美術館学芸員。現代陶芸・ヨーロッパ陶磁器を担当  
大阪教育大学大学院教育学研究科芸術文化専攻造形芸術学、パリ第一大学美術史学科博士前課程(DEA)修了。  
2009年にフランス国立セーヴル陶磁美術館にて研修。2019年より「木彫フォークアートおおよ」審査員



大阪芸術大学短期大学部デザイン美術学科准教授  
浪速短期大学デザイン美術科工業・工芸デザイン卒業。  
ギャラリー白(大阪)、大雅堂(京都)アトリエ西宮(兵庫)マスタースタジオ(東京)他で個展を開催。  
今回のアートフォーラムでは学生作品の指揮を担当

ここでみつかると

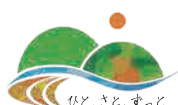


[hitosato.jp](https://hitosato.jp)

高見澤清隆

マルテル坂本牧子

堀野利久



地域まるごとミュージアム  
北摂里山博物館

主催:兵庫県阪神北県民局 協力:兵庫県立人と自然の博物館 大阪芸術大学短期大学部